

小学生版 1・2・3年生ブックリスト

ビーだま



2013年 No.43

<編集・発行>

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7273

平成26年4月23日発行

(年2回発行)

2013年7月～12月にとしょかんに入った本の中から、
とくにおすすめの本をしょうかいします。



こやぶ^{い い ん}医院は、なんでも科^か

柏葉幸子／作 山西ゲンイチ／絵 佼成出版社



おなかがいたいふりをして、学校を休んださやは、びょういんにつれていかれます。そこには、さやとおなじようにうそをついて休んだきつねの男の子もいました。

ふたりのうそは、こやぶ先生にばれてしまいます。そのせいで、おそろしい赤おにのかんぴょうをすることになってしまいました。

にひきのいたずらこやぎ

松居スーザン／作 出久根育／絵 佼成出版社



ヤギのハイジとペーターは、いたずらが大好き。ある日、2ひきはかいぬしのおばあさんのところをにげだし、町で大さわぎをします。

山であそんでいるうちに夜になり、おなかもすいてきました。そろそろかえりたいのですが、みちにまよってしまいます。



せかいでいちばん大きなおいも

二宮由紀子／作 村田エミコ／絵 佼成出版社

ヤマモトさんとおくさんは、はたけでとても大きなおいもをほり出しました。あんまり大きいので、ふたりはひとばんかざっておきました。

次の日、たべようとすると、とつぜんおいもがしゃべりだします。「せかいでいちばん大きなおれさまに、ふさわしいたべかたをしろ」と言うのです。



ふたつのゆびきりげんまん

そうまこうへい／作 マスリラ／絵 小峰書店



ひろとは、大すきなお父さんとおばけやしきにくよくそくをしました。ともだちのとおるにも、ほうこくするやくそくをします。

けれども、お父さんはとつぜんしごとに行くことになりました。ひろとはとおるに「いってきた」とうそをついてしまいます。

おばけのクリリン

こさかまさみ／作 さとうあや／絵 福音館書店



ようちえんには、クリリンというおばけがすんでいます。クリリンは子どもたちが大好きですが、おばけなので、いつもはかくれています。

ある日、すずめ組のももこ先生がおやすみしました。えんちょう先生はとってもいそがしそう。そこで、クリリンはももこ先生にばけて、てつだうことにします。



しょうぶだ しょうぶ！—先生^{フィエス}vsぼく—

野村一秋／作 ささきみお／絵 文研出版

イサムのクラスのガミヤマ先生は、どなってばかり。とうとうイサムは、先生とケンカしてしまいます。ほかの先生がかけつけますが、ふたりはなかなかおりできません。「こうなったら、けっとうだ」しょうぶのじかんは、おひるやすみです。



まじょ 魔女がまちにやってきた

村上勉／作 偕成社



魔女はことしで 371 さい。としをとったので、さむい山からあたたかい町へひっこすことにしました。

ひっこしにもつをたくさんもって、長い間とんだホウキはくたくたです。町にやってきた魔女は、ホウキのかわりにじてんしゃにのることをおもいつきました。

なぞかけときじろう

もとしたいづみ／作 国松エリカ／絵 岩崎書店



ときはえどじだい。「なぞかけときじろう」という、なぞなぞのとくいなわかものがありました。

ある日、ときじろうのうわさをきいたとうぞく団だんに、ときじろうのいもうとがさらわれてしまいます。いもうとをとりかえすには、たからものありかをしめすなぞなぞをとかなければいけません。



くつかくしたの、だあれ？

山本悦子／作 大島妙子／絵 童心社

ユキとかなちゃんは、ほいくえんからのなかよしです。でも、小学校になってから、かなちゃんはあたらしいともだちと外であそんでばかりです。

そんなある日、かなちゃんのくつがなくなっていました。ふたりでさがしていると、ふしぎなおばあさんに「うせもののへや」へあんないされます。



パン屋やのこびととハリネズミ ふしぎな11のおとぎ話ばなし

アニー・M・G・シュミット／作 西村由美／訳 徳間書店



パン生地きじこびとは、ゴキブリをたいじしたり、パンくずをたべてきれいにしてくれるとてもいいこびとです。でも、いつもふきげんなパン屋のトリップさんは、パン生地こびとをどなりつけてしまいます。おこったこびとは、トリップさんのパン生地をみんなハリネズミにかえてしまいました。

【 執筆：崎川（本館） 】